



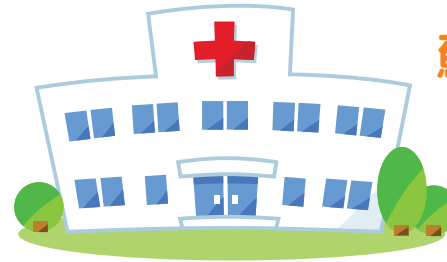
新病院建設計画の概要

建設地	旧馬見原分校グラウンド (山都町滝上476-2)	事業費 約15億円 (内訳) 本体工事費：10億8千8百万円 医療機器：1億7千6百万円 医師住宅：1億円 その他：1億3千6百万円
構造	鉄筋コンクリート造 3階建	
床面積	4,356㎡	
病床数	57床	
建設年度	平成23年度～平成24年度	
備考	人工透析新設、歯科（柏歯科診療所）統合予定	



これから事業がスムーズに進むかどうかは住民の皆様のご支援にかかっています。どうぞよろしくおねがい申し上げます。

私は今年も、「病院づくりは地域づくり」の理念を持って頑張ってくださいます。あらゆる機会を捉えて、皆様のお気持ちやご意向を病院運営に活かせるよう努力する所存でございますのでご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



蘇陽病院だより

～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します」



新年のご挨拶

山都町立蘇陽病院院長 水本 誠一

山都町住民の皆様、明けましておめでとうございます。山都町立蘇陽病院の院長を仰せつかっております。水本誠一でございます。

今年はずいぶん大雪の中での新年となりましたが、昔から新年の雨や雪は豊作の予兆とされており、今年一年に希望をつなごうと思います。

さて、私が山都町に居を移し、院長として赴任しましてから3回目の冬になります。この間、皆様のご期待に添える病院となるようにさまざまな取り組みを行なってまいりました。昨年を少しばかり振り返り、さらに今年の抱負について申し上げます。

まず、昨年度はレントゲンのPACSシステム、物流管理のSPDシステムを導入することによってスタッフの業務合理化をはかり、約3000万円の黒字を達成することが出来ました。さらに今年度（昨年4月から）は入院患者さんの数に対する看護職やリハビリ技師の人数を充実させて患者サービスの向上に取り組む、その結果、今年度（今年の3月で決算）も昨年度並みの黒字が達成できそうです。

それらのことを踏まえて、念願でありました新病院の建設計画を昨年9月から進めさせていただいており、本年3月末には設計が完成いたしました。その後議会（町民の皆様）のご承認を頂いて、本年夏には着工の運びになると考えております。現段階での基本構想を基にした、完成予想図（コンピュータグラフィックス）を掲載いたします。旧中学校のグラウンドや体育館に隣接した立地計画で、患者さんだけでなく、若者男女みんなが健康づくりに集えるような「病院らしくない病院」を目指しています。

山都町唯一の救急病院としての役割、へき地医療の維持の役割、また訪問看護や訪問診療、訪問リハビリなどを駆使した地域での完結医療の役割、この三つの役割を意識しつつ、医師・看護師はもとよりリハビリ・放射線・臨床検査などのスタッフと子ども、今年も使命感を持ってがんばってまいります。

全国的な医師不足の中、現在当院に4人の常勤医が勤務していることはまったく「奇跡的」なことであり、山都町の皆さんにとっては「宝もの」といっても過言ではありません。